

地質調査結果（中間報告）

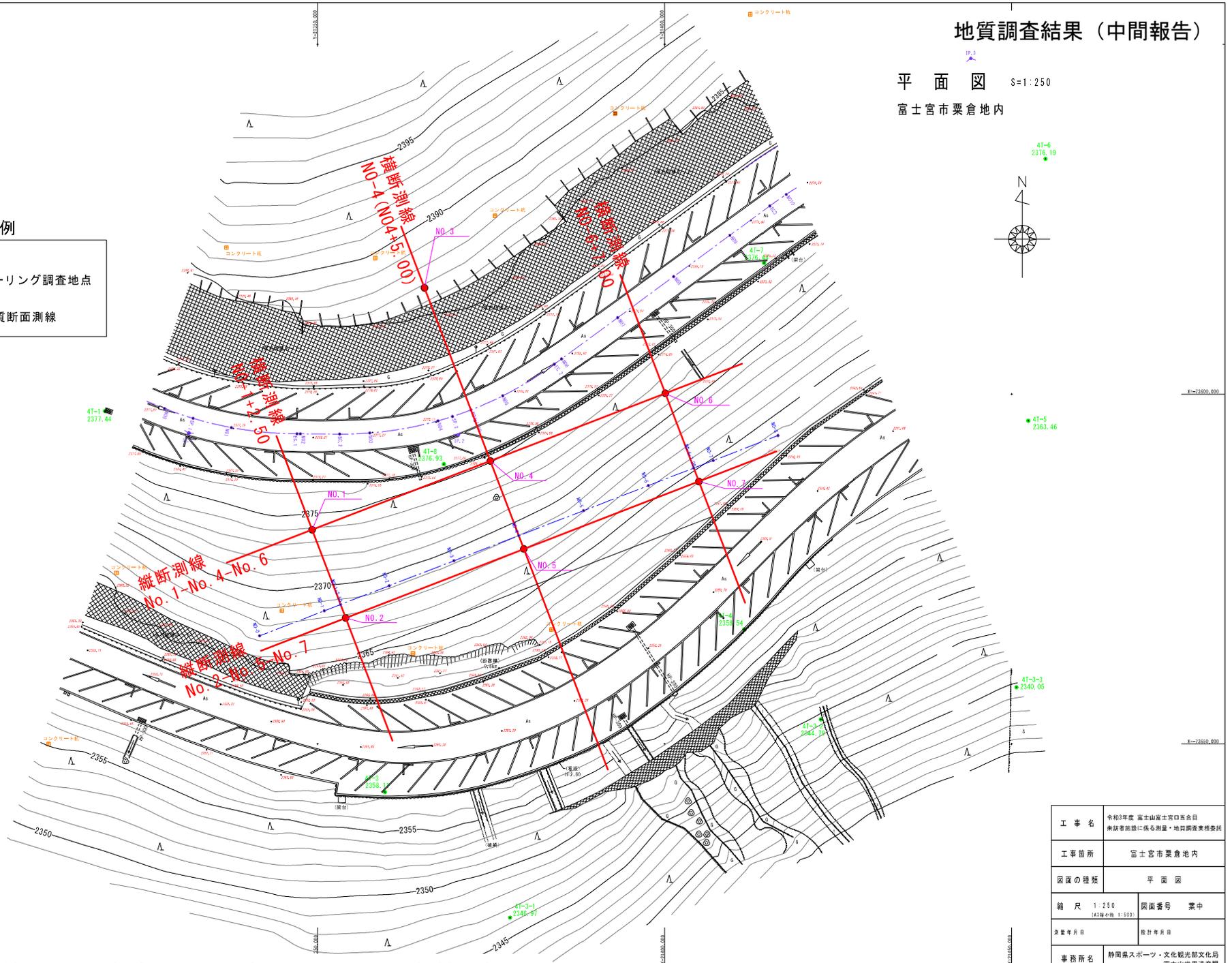
平面図 S=1:250

富士宮市栗倉地内



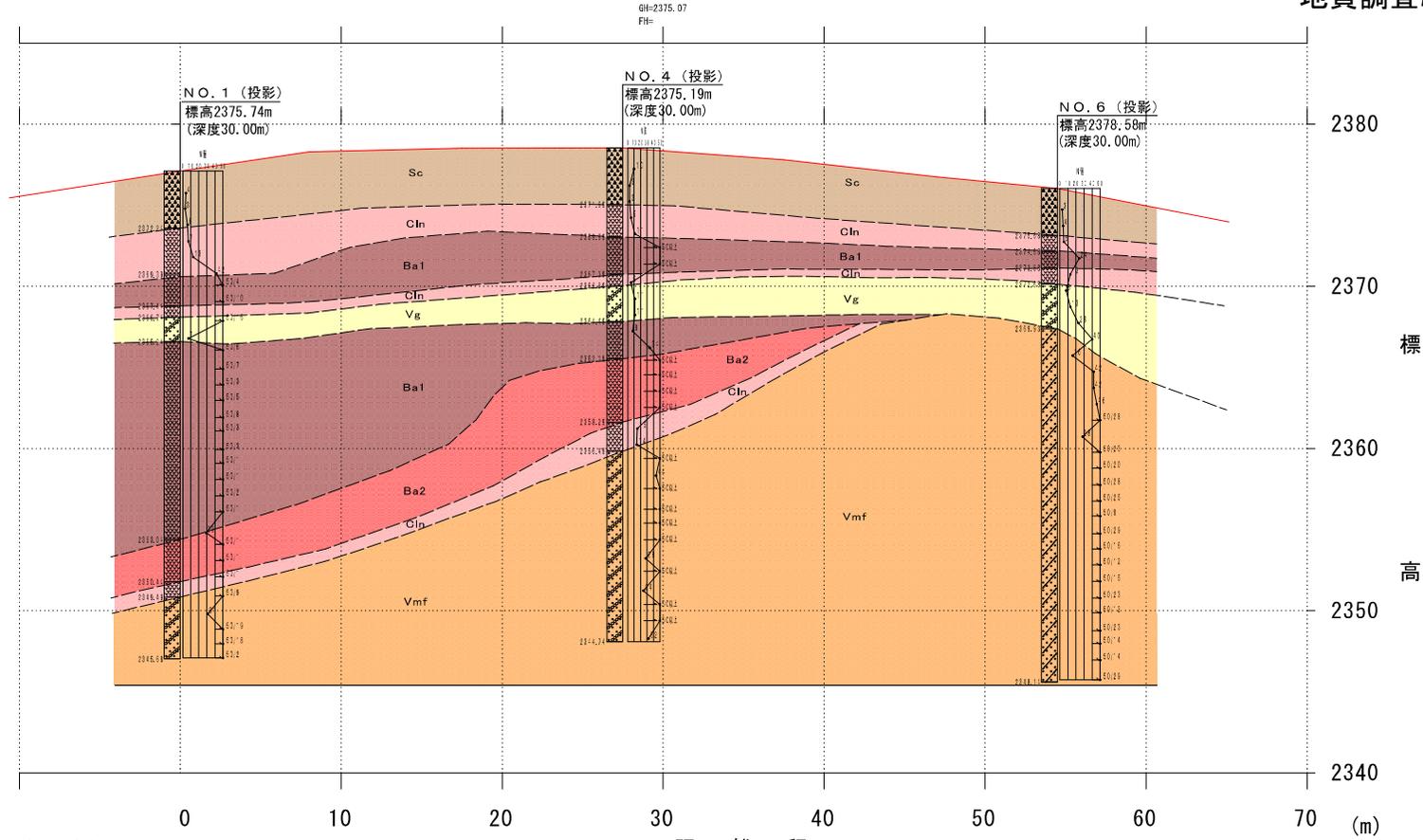
凡例

- NO. 1 : ボーリング調査地点
- : 地質断面測線



※この地質調査結果は中間報告のため、成果品と異なる可能性がある。

工事名	令和3年度 富士山富士宮口五合目 未読者施設に係る測量・地質調査業務委託		
工事箇所	富士宮市栗倉地内		
図面の種類	平面図		
縮尺	1:250 (A3用紙時 1:500)	図面番号	業中
測量年月日		設計年月日	
事務所名	静岡県スポート・文化観光部文化局 富士山世界遺産係		



地層区分凡例

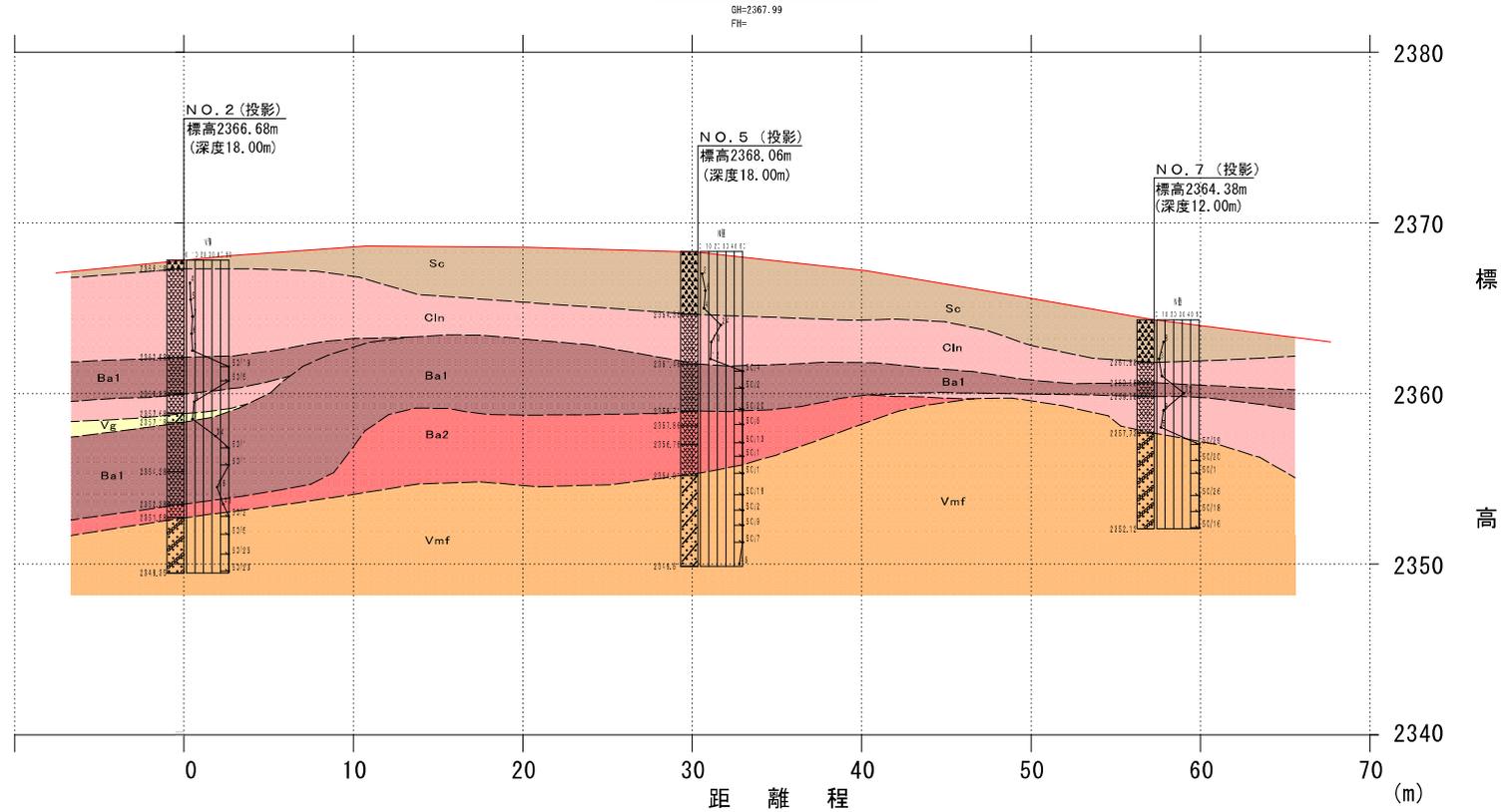
地質時代	地層名	記号	層相	N値 (換算N値)	特徴
第四紀 完新世	スコリア	Sc	火山礫	2~10	<ul style="list-style-type: none"> 玄武岩からなる多孔質の礫。 砂分・細粉分の混入はほとんどなく、隙間には空隙が多い。 割れ目度合は幅広く、支持層としては適さない。
	玄武岩溶岩	Cln	クリンカー	4~25	<ul style="list-style-type: none"> 溶岩流の表面に形成された塊状の溶岩破片。 ボーリングコアでは、棒状の硬質な溶岩の上下および内部に認められる。 比較的準層で分布しており、N値も低いことから、単独では支持層には適さない。
		Ba1	多孔質溶岩	6~50以上 (68~300)	<ul style="list-style-type: none"> 棒状~短柱状主体で採取される玄武岩質の溶岩流。 全体に発泡しており、多孔質である。自然砕溶岩を伴う。 全体にN値50以上を示すが、局部的に空隙が密集しN値50を下回る箇所が存在する。設計用地盤定数の検討に際しては、空隙の影響による過小値を考慮し代表値を設定する。 岩質は非常に硬質であるため、構造物の支持層としての強度は十分に得られると考えられる。
		Ba2	未発泡溶岩	50以上 (150~300)	<ul style="list-style-type: none"> 棒状で採取される玄武岩質の溶岩流。 気泡や割れ目が少なく、緻密な構造である。 岩質は非常に硬質であるため、構造物の支持層としての強度は十分に得られると考えられる。
	火山砕層物	Vg	溶岩混じり火山砂礫	7~23	<ul style="list-style-type: none"> 溶岩片や溶岩塊を混入する砂。 岩片や砂に熱による溶結が見られないことから、風化した溶岩や火山噴出物の二次堆積物であると考えられる。 溶岩片を多く混入する箇所では、やや高いN値を示すが、全体に緩い砂を主体とすることから、支持層としては適さない。
	火山泥流堆積物	Vmf	溶岩混じり火山礫	24~50以上	<ul style="list-style-type: none"> 火山礫や溶岩片を主体とし、マトリックスである砂を密に混入する堆積土。 全体にやや赤みを帯びており、部分的に溶結した箇所も認められることから、熱を持った状態で堆積した火山噴出物であると考えられる。 部分的にN値30を下回る箇所を介在するものの、概ねN値50を示す地層であることから、支持層として適する。

縮尺 1:150
(A3縮小時 1:300)

※この地質調査結果は中間報告のため、成果品と異なる可能性がある。

縦断面図 No. 2-No. 5-No. 7

地質調査結果 (中間報告)



地層区分凡例

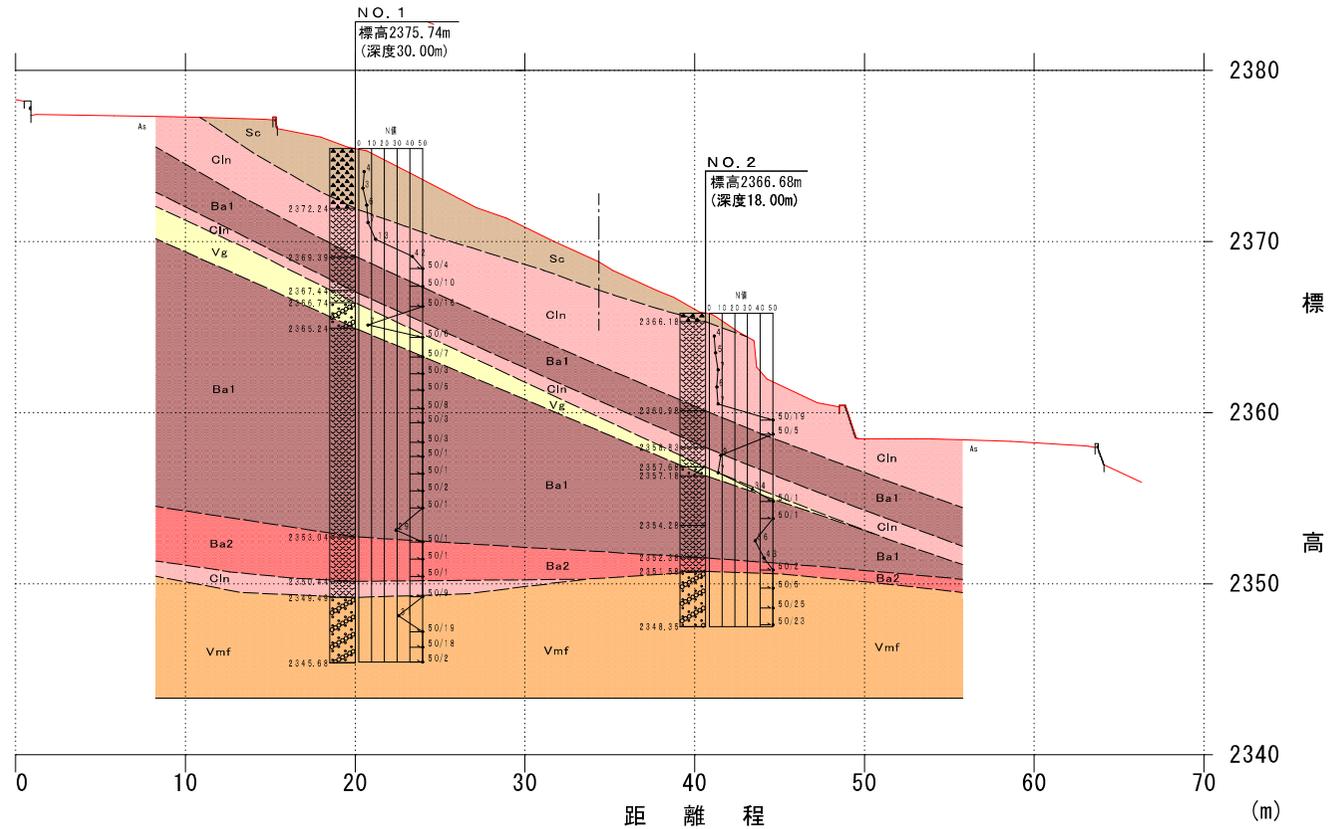
地質時代	地層名	記号	層相	N値 (換算N値)	特徴
第四紀 完新世	スコリア	Sc	火山礫	2~10	<ul style="list-style-type: none"> 玄武岩からなる多孔質の礫。 砂分・細粒分の混入はほとんどなく、隙間には空隙が多い。 締まり度合は緩く、支持層としては適さない。
	玄武岩溶岩	Cln	クリンカー	4~25	<ul style="list-style-type: none"> 溶岩流の表面に形成された棒状の溶岩破片。 ボーリングコアでは、棒状の硬質な溶岩の上下および内部に認められる。 比較的薄層で分布しており、N値も低いことから、単独では支持層には適さない。
		Ba1	多孔質溶岩	6~50以上 (68~300)	<ul style="list-style-type: none"> 棒状~短柱状主体で採取される玄武岩質の溶岩流。 全体に発泡しており、多孔質である。自破砕溶岩を伴う。 全体にN値50以上を示すが、局所的に空隙が密集しN値50を下回る箇所が存在する。設計用地盤数値の検討に際しては、空隙の影響による過小値を考慮し代表値を設定する。 溶岩は非常に硬質であるため、構造物の支持層としての強度は十分に得られると考えられる。
		Ba2	未発泡溶岩	50以上 (150~300)	<ul style="list-style-type: none"> 棒状で採取される玄武岩質の溶岩流。 気泡や割れ目が少なく、緻密な構造である。 溶岩は非常に硬質であるため、構造物の支持層としての強度は十分に得られると考えられる。
	火山砕屑物	Vg	溶岩混じり火山砂礫	7~23	<ul style="list-style-type: none"> 溶岩片や溶岩塊を混入する砂。 岩片や砂に熱による溶結が見られないことから、風化した溶岩や火山噴出物の二次堆積物であると考えられる。 溶岩片を多く混入する箇所では、やや高いN値を示すが、全体に緩い砂を主体とすることから、支持層としては適さない。
	火山泥流堆積物	Vmf	溶岩混じり火山礫	24~50以上	<ul style="list-style-type: none"> 火山礫や溶岩片を主体とし、マトリックスである砂を密に混入する硬質土。 全体にやや赤みを帯びており、部分的に溶結した箇所も認められることから、熱を持った状態で堆積した火山噴出物であると考えられる。 部分的にN値50を下回る箇所を介在するものの、概ねN値50を示す地層であることから、支持層として適する。

縮尺 1:150
(A3縮小時 1:300)

※この地質調査結果は中間報告のため、成果品と異なる可能性がある。

地質調査結果（中間報告）

横断面図 NO-1+2.50
GH=2366.61
FH=



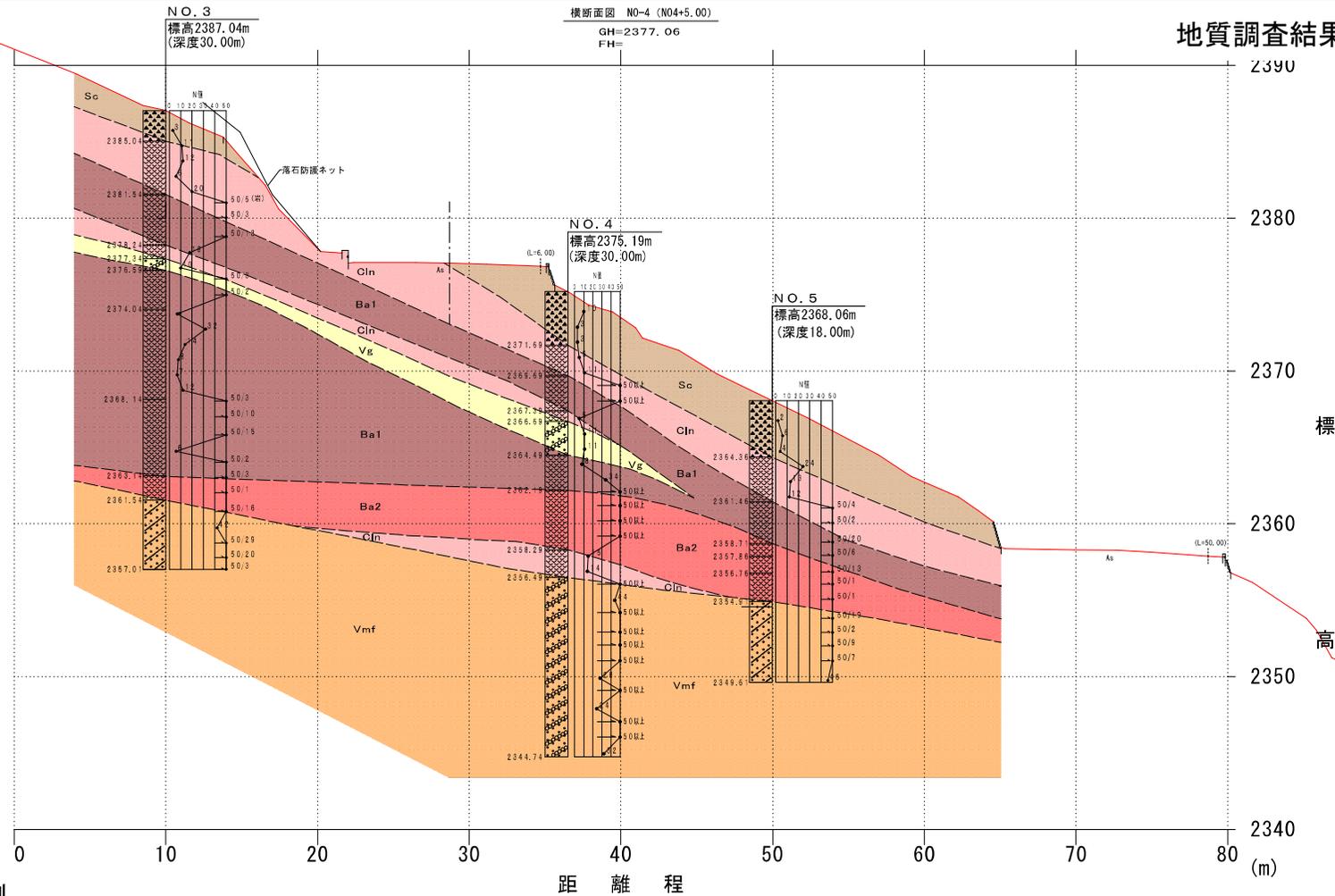
地層区分凡例

地質時代	地層名	記号	層相	N値 (換算N値)	特徴
第四紀 完新世	スコリア	Sc	火山礫	2~10	<ul style="list-style-type: none"> 玄武岩からなる多孔質の礫。 砂分・細粒分の混入はほとんどなく、隙間には空隙が多い。 締まり度合は緩く、支持層としては適さない。
	玄武岩溶岩	Cln	クリンカー	4~25	<ul style="list-style-type: none"> 溶岩流の表面に形成された棒状の溶岩破片。 ボーリングコアでは、棒状の硬質な溶岩の上下および内部に認められる。 比較的薄層で分布しており、N値も低いことから、単独では支持層には適さない。
		Ba1	多孔質溶岩	6~50以上 (68~300)	<ul style="list-style-type: none"> 棒状~短柱状主体で採取される玄武岩質の溶岩流。 全体に発泡しており、多孔質である。自然砕溶岩を伴う。 全体にN値50以上を示すが、局所的に空隙が密集しN値50を下回る箇所が内在する。設計用地盤定数の検討に際しては、空隙の影響による過小値を考慮し代表値を設定する。 岩質は非常に硬質であるため、構造物の支持層としての強度は十分に得られると考えられる。
		Ba2	未発泡溶岩	50以上 (150~300)	<ul style="list-style-type: none"> 棒状で採取される玄武岩質の溶岩流。 気泡や割れ目が少なく、緻密な構造である。 岩質は非常に硬質であるため、構造物の支持層としての強度は十分に得られると考えられる。
	火山砕屑物	Vg	溶岩混じり火山砂礫	7~23	<ul style="list-style-type: none"> 溶岩片や溶岩塊を混入する砂。 岩片や砂に熱による溶結が見られないことから、風化した溶岩や火山噴出物の二次堆積物であると考えられる。 溶岩片を多く混入する箇所では、やや高いN値を示すが、全体に低い砂を主体とすることから、支持層としては適さない。
	火山泥流堆積物	Vmf	溶岩混じり火山礫	24~50以上	<ul style="list-style-type: none"> 火山礫や溶岩片を主体とし、マトリックスである砂を混入する硬質土。 全体にやや赤みを帯びており、部分的に溶結した箇所も認められることから、熱を持った状態で堆積した火山噴出物であると考えられる。 部分的にN値30を下回る箇所を介在するもの、概ねN値50を示す地層であることから、支持層として適する。

工事名	令和3年度 富士山富士宮口五合目 未読者施設に係る測量・地質調査業務委託
工事箇所	富士宮市粟倉地内
図面の種類	横断面図_NO-1+2.50
縮尺	1:150 (A2用紙用 1:300)
図面番号	業中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県スポート・文化観光部文化局 富士山世界遺産課

※この地質調査結果は中間報告のため、成果品と異なる可能性がある。

地質調査結果 (中間報告)



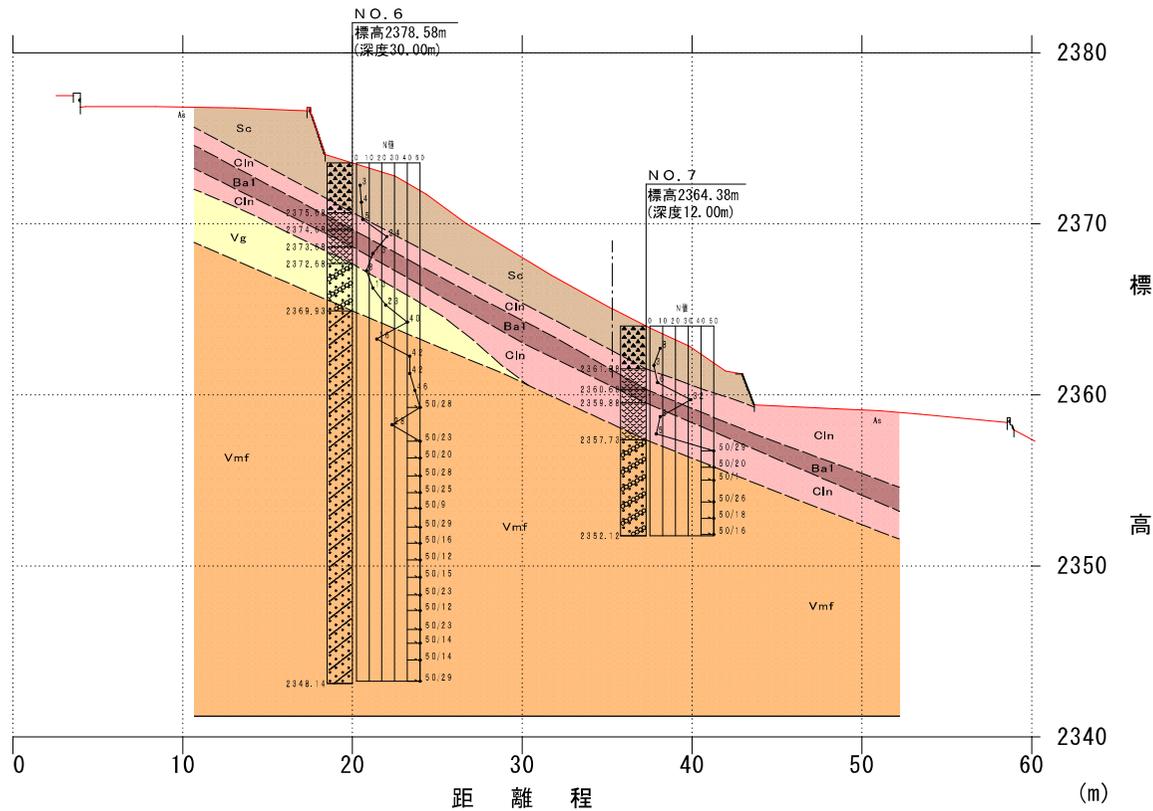
地層区分凡例

地質時代	地層名	記号	層相	N値 (換算N値)	特徴
第四紀 完新世	スコリア	Sc	火山礫	2~10	<ul style="list-style-type: none"> 玄武岩からなる多孔質の礫。 砂分・塵粒分の混入はほとんどなく、隙間には空隙が多い。 締まり度合は緩く、支持層としては適さない。
	玄武岩溶岩	Cln	クリンカー	4~25	<ul style="list-style-type: none"> 溶岩流の表面に形成された塊状の溶岩破片。 ボーリングコアでは、塊状の硬質な溶岩の上下および内部に認められる。 比較的薄層で分布しており、N値も低いことから、単独では支持層には適さない。
		Ba1	多孔質溶岩	6~50以上 (68~300)	<ul style="list-style-type: none"> 塊状~短柱状主体で採取される玄武岩質の溶岩流。 全体に発達しており、多孔質である。自然砕屑岩を伴う。 全体にN値50以上を示すが、局所的に空隙が集中しN値50を下回る箇所が存在する。設計用地盤定数の検討に際しては、空隙の影響による過小値を考慮し代表値を設定する。 岩質は非常に硬質であるため、構造物の支持層としての強度は十分に得られると考えられる。
		Ba2	未発泡溶岩	50以上 (150~300)	<ul style="list-style-type: none"> 塊状で採取される玄武岩質の溶岩流。 気泡や割れ目が少なく、緻密な構造である。 岩質は非常に硬質であるため、構造物の支持層としての強度は十分に得られると考えられる。
	火山砕屑物	Vg	溶岩混じり火山砂礫	7~23	<ul style="list-style-type: none"> 溶岩片や溶岩塊を混入する砂。 岩片や砂に類による溶結が見られないことから、風化した溶岩や火山噴出物の二次堆積物であると考えられる。 溶岩片を多く混入する箇所では、やや高いN値を示すが、全体に緩い砂を主体とすることから、支持層としては適さない。
	火山泥流堆積物	Vmf	溶岩混じり火山礫	24~50以上	<ul style="list-style-type: none"> 火山礫や溶岩片を主体とし、マトリックスである砂を密に混入する礫質土。 全体にやや軟弱を示しており、部分的に溶結した箇所も認められることから、熟を持った状態で堆積した火山噴出物であると考えられる。 部分的にN値30を下回る箇所を介するもの、概ねN値50を示す地層であることから、支持層として適する。

工事名	令和3年度 富士山富士宮口五合目 未読者施設に係る測量・地質調査業務委託
工事箇所	富士宮市粟倉地内
図面の種類	横断面図_NO-4
縮尺	1:150 (A2用紙時 1:300)
図面番号	業中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県スポート・文化観光部文化局 富士山世界遺産課

※この地質調査結果は中間報告のため、成果品と異なる可能性がある。

横断面図 NO-6+7.00
GH=2365.03



地層区分凡例

地質時代	地層名	記号	層相	N値 (換算N値)	特徴
第四紀 完新世	スコリア	Sc	火山礫	2~10	<ul style="list-style-type: none"> 玄武岩からなる多孔質の礫。 砂分・細粒分の混入はほとんどなく、隙間には空隙が多い。 締まり度合は緩く、支持層としては適さない。
	玄武岩溶岩	Cln	クリンカー	4~25	<ul style="list-style-type: none"> 溶岩流の表面に形成された塊状の溶岩破片。 ボアリングコアでは、棒状の硬質な溶岩の上下および内部に認められる。 比較的薄層で分布しており、N値も低いことから、単独では支持層には適さない。
		Ba1	多孔質溶岩	6~50以上 (68~300)	<ul style="list-style-type: none"> 棒状~塊状主体で採取される玄武岩質の溶岩流。 全体に発達しており、多孔質である。自壊砕溶岩を伴う。 全体にN値50以上を示すが、局部的に空隙が密集しN値50を下回る箇所が存在する。設計用地盤定数の検討に際しては、空隙の影響による過小値を考慮し代表値を設定する。 岩質は非常に硬質であるため、構造物の支持層としての強度は十分に得られると考えられる。
		Ba2	未発泡溶岩	50以上 (150~300)	<ul style="list-style-type: none"> 棒状で採取される玄武岩質の溶岩流。 気泡や割れ目が少なく、緻密な構造である。 岩質は非常に硬質であるため、構造物の支持層としての強度は十分に得られると考えられる。
	火山碎屑物	Vg	溶岩混じり火山砂礫	7~23	<ul style="list-style-type: none"> 溶岩片や溶岩塊を混入する砂。 岩片や砂に粘りによる溶結が見られないことから、風化した溶岩や火山噴出物の二次堆積物であると考えられる。 溶岩片を多く混入する箇所では、やや高いN値を示すが、全体に緩い砂を主体とすることから、支持層としては適さない。
	火山泥流堆積物	Vmf	溶岩混じり火山礫	24~50以上	<ul style="list-style-type: none"> 火山礫や溶岩片を主体とし、マトリックスである砂を密に混入する硬質土。 全体にやや赤みを帯びており、部分的に溶結した箇所も認められることから、熱を持った状態で堆積した火山噴出物であると考えられる。 部分的にN値30を下回る箇所を介するものの、概ねN値50を示す地層であることから、支持層として適する。

工事名	令和3年度 富士山富士宮口五合目 未読者施設に係る測量・地質調査業務委託
工事箇所	富士宮市粟倉地内
図面の種類	横断面図_NO-6+7.00
縮尺	1:150 (A2用紙用 1:300)
図面番号	業中
測量年月日	設計年月日
事務所名	静岡県スポート・文化観光部文化局 富士山世界遺産課

※この地質調査結果は中間報告のため、成果品と異なる可能性がある。

土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調査名 令和3年度 富士山富士宮口五合目来訪者施設に係る測量・地質調査業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	No.1		調査位置	静岡県富士宮市栗谷地内		北緯	"	
発注機関	静岡県スポーツ・文化観光部文化局富士山世界遺産課		調査期間	令和3年10月25日～ 令和3年11月 2日		東経	"	
調査業者名	株式会社 ジーベック 電話 054-246-7741		主任技師	武井諒 登録地質士 第21058号	現場代理人	武井諒 登録地質士 第21058号	コア監定者	武井諒 登録地質士 第21058号
ボーリング責任者	米田久信 登録地質士 第12112号		使用機種	TOYO-D0-D		エンジン	NFD-9	
ボーンブ	MS415		総削孔長	30.06m		口径	φ237.5, 74mm	
角	180° 上下 0°		方角	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°		地盤勾配	10° 鉛直 90° 水平 0°	

標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対調度	記号	孔内水位/測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内試験	削孔月日
									N	深 度 (m)	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量			
2372.24	3.50	スコリア火山礫	暗褐				φ2~70mm前後の礫を主体とする火山砕積物である。礫は多角質であり、不規則な形状を呈する。砂分を少量混入するが、シルト分はほとんど含まない。		1.15	1	1	2	4			
2389.38	6.33	玄武岩クレー	暗赤褐				溶岩流の表面に形成される破片状・岩塊状の溶岩である。岩片状~塊状で採取される。岩片間で溶結し、空隙を伴った短柱状で採取される箇所もある。コア頭は粗く、全体に多孔質である。ハンマー打撃により溶結箇所が割れる。		2.15	1	1	1	3			
2387.44	8.30	玄武岩溶岩	暗灰				塊状で採取される玄武岩溶岩である。全体に差迫しており、多孔質である。ハンマー打撃により崩れを発生させる。		3.15	2	2	1	6			
2366.74	9.00	玄武岩クレー	暗赤灰				溶岩流の表面に形成される破片状・岩塊状の溶岩である。岩片状~塊状で採取される。岩片間で溶結し、空隙を伴った短柱状で採取される箇所もある。コア頭は粗く、全体に多孔質である。ハンマー打撃により溶結箇所が割れる。		4.15	3	2	2	7			
2365.24	10.50	玉石混じり溶岩火山砕積物	暗灰				φ2~40mm前後の礫およびコア長15~20cm前後の溶岩塊を主体とする火山砕積物である。砂分やや多く混入する。		5.15	6	4	3	13			
			暗灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		6.15	9	8	25	42			
			暗赤灰				深度7.00m以深、巻巻跡の孔に沿って酸化着色が進み、暗赤色を帯びる。		7.00	50	50	40	50			
			暗赤灰				溶岩流の表面に形成される破片状・岩塊状の溶岩である。岩片状~塊状で採取される。岩片間で溶結し、空隙を伴った短柱状で採取される箇所もある。コア頭は粗く、全体に多孔質である。ハンマー打撃により溶結箇所が割れる。		8.00	50	50	100	100			
			暗赤灰				φ2~40mm前後の礫およびコア長15~20cm前後の溶岩塊を主体とする火山砕積物である。砂分やや多く混入する。		9.31	6	44	50	160			
			暗灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		10.15	2	3	7	210			
			暗灰				深度17.25~20.20m間、短柱状で採取される箇所が多い。		11.20	50	50	60	60			
			暗灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		12.15	50	50	70	70			
			暗灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		13.15	50	50	30	30			
			暗灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		14.10	50	50	50	50			
			暗赤灰				深度17.25~20.20m間、短柱状で採取される箇所が多い。		14.15	50	50	50	50			
			暗赤灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		15.15	50	50	80	80			
			暗赤灰				深度17.25~20.20m間、短柱状で採取される箇所が多い。		16.00	50	50	30	30			
			暗赤灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		17.15	50	50	30	30			
			暗赤灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		18.00	50	50	10	10			
			暗赤灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		19.00	50	50	10	10			
			暗赤灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		20.00	50	50	20	20			
			暗赤灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		21.00	50	50	10	10			
			暗赤灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		22.15	9	9	11	29			
			暗赤灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		23.00	50	50	10	10			
			暗赤灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		24.00	50	50	10	10			
			暗赤灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		25.00	50	50	10	10			
			暗赤灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		26.15	50	50	90	90			
			暗赤灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		27.15	11	9	11	31			
			暗赤灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		28.15	17	33	50	190			
			暗赤灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		28.34	99	99	160	160			
			暗赤灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		29.00	27	23	50	180			
			暗赤灰				溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自融砕溶岩である。短柱状~塊状で採取される。全体に差迫しており多孔質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で崩れを発生させる。		30.00	50	50	60	60			

※この地質調査結果は中間報告のため、成果品と異なる可能性がある。

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和3年度 富士山富士宮口五合目来訪者施設に係る測量・地質調査業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	N0.2		調査位置	静岡県富士宮市栗倉地内		北緯	"				
発注機関	静岡県スポーツ・文化観光部文化局富士山世界遺産課			調査期間	令和3年11月25日～ 令和3年11月27日			東経	"		
調査業者名	株式会社 ジーベック 電話 054-246-7741		主任技師	武井諒 地質調査技師 第24058号		現場代理人	武井諒 地質調査技師 第24058号		コピ定者	武井諒 地質調査技師 第24058号	
ボーリング	米田久信 地質調査技師 第12112号		角	180° 上 90° 下		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	10° 水平 0° 鉛直 90°	
使用機種	TOHO DO-0		エンジン	NFD-9		ポンプ	MS415				
孔口標高	TP 2366.68m		総削孔長	18.33m							

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 相 対 密 稠 度	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔月日	
											深 度 (m)	100mm毎の打撃回数	打撃ことの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試料番号			
1	2366.18	0.50	▲▲▲ スコリア火山礫	▲▲▲ スコリア火山礫		暗灰			φ2~50mm前後の礫を主体とする火山砕屑物である。礫は多孔質であり、不規則な形状を呈する。砂分を少量混入するが、シルト分はほとんど含まない。		1.15	2	1	4						
2						暗灰			溶岩流の表面に形成される破片状・岩塊状の溶岩である。岩片状～礫状で採取される。コア肌は粗く、全体に多孔質である。ハンマー打撃により溶結箇所で割れる。		1.51									
3				玄武岩クレー		赤褐					2.15	3	1	5						
4											2.48									
5											3.15	2	3	7						
6											3.45									
7	2360.98	5.70		玄武岩溶岩		暗灰			棒状で採取される玄武岩溶岩である。全体に発泡しており、多孔質である。ハンマー打撃により濁音を発し割れる。		4.15	1	5	6						
8	2358.83	7.85				暗赤					4.48	180	130	510						
9	2357.68	9.00		玄武岩クレー		暗赤			溶岩流の表面に形成される破片状・岩塊状の溶岩である。岩片状～礫状で採取される。岩片間で溶結し、空隙を伴った短柱状で採取される箇所もある。コア肌は粗く、全体に多孔質である。ハンマー打撃により溶結箇所で割れる。		5.15	2	3	7						
10	2357.18	9.50		砂混じり火山砕屑物		褐					5.45									
11									φ2~50mm前後の礫を主体とする火山砕屑物である。砂分をやや多く混入する。		6.15	27	23	50	190					
12				玄武岩溶岩		暗赤			棒状で採取される玄武岩溶岩である。全体に発泡しており、多孔質である。ハンマー打撃により濁音を発し割れる。		6.34									
13	2354.28	12.40		自砕砕状玄武岩溶岩		暗灰			溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自砕砕状溶岩である。短柱状～岩片状で採取される。全体に発泡しており多孔質である。破砕面は暗褐色に変色している。コアはハンマー打撃で濁音を発し割れる。		7.05	50	50	50	50					
14	2352.38	14.30		玄武岩溶岩		暗灰			全体に気泡が少ない未発泡の溶岩である。棒状で採取される。コア肌は滑らかであり、緻密な岩相を呈する。ハンマー打撃で金属音を発する。		8.15	3	3	9						
15	2351.58	15.10		玄武岩溶岩		暗灰					8.45									
16				玉石混じり礫堆積物		暗褐			古富士火山の噴出物とみられる、火山泥流堆積物である。φ2~50mm前後の火山礫を主体とし、コア長10cm前後で採取される火山岩を混入する。砂分をやや多く混入する。ハンマー軽打で容易に崩れる。		9.15	2	3	2	7					
17											9.48	80	120	130	330					
18	2348.35	18.33									10.15	11	10	13	34					
19											10.48									
20											11.09	50	10	10	10					
21											11.01									
											12.00	50	50	50	10					
											12.01									
											13.15	13	10	13	36					
											13.48									
											14.15	18	12	13	43					
											14.45									
											15.00	50	50	20	20					
											15.02									
											15.05	50	50	50	50					
											16.10	50	50	50	50					
											17.10	11	18	21	50	250				
											17.35									
											18.10	11	23	16	50	230				
											18.33									

※この地質調査結果は中間報告のため、成果品と異なる可能性がある。

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和3年度 富士山富士宮口五合目来訪者施設に係る測量・地質調査業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	N0.3		調査位置	静岡県富士宮市粟倉地内		北緯		
発注機関	静岡県スポーツ・文化観光部文化局富上山世界遺産課		調査期間	令和3年10月26日～令和3年11月5日		東経		
調査業者名	株式会社 ジーベック 電話 054-246-7741		主任技師	武井諒 地質調査士 第24058号		現場代理人	武井諒 地質調査士 第24058号	
ボーリング責任者	下橋清人 地質調査士 第24058号		試験機	YBM-05		ポンプ	MS154	
孔口標高	TP 2387.04m		角	180° 0' 0" 上下 0° 0' 0" 方位		地盤勾配	25° 水平 0° 90°	
総削孔長	30.03m		使用機種	エンジン NF-9				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現地土質名	地盤材料の工学的分類	色相対対調密度	相対調密度	記号	孔内水位/測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内試験	削孔月日	
										深さ (m)	N	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量				深さ (m)
1			スコリア火山礫			暗褐		φ2~50mm前後の礫を主体とする火山砕解物である。礫は多角質であり、不規則な形状を呈する。砂分を少量混入するが、シルト分はほとんど含まない。		1.15	1	1	3	50			10/26	
2	2385.04	2.00		玄武岩クラカ		暗赤		溶岩流の表面に形成される破片状・岩塊状の溶岩である。岩片状~塊状で採取される。岩片間で溶結し、空隙を伴った短柱状で採取される箇所もある。コア頭は粗く、全体に多角質である。ハンマー打撃により溶結箇所が割れる。		2.15	1	3	7	11	50			10/27
3				玄武岩クラカ		暗赤				2.45								
4				玄武岩クラカ		暗赤				3.15	2	4	6	12	50			
5	2381.54	5.50		玄武岩溶岩		暗灰		塊状で採取される玄武岩溶岩である。全体に発泡しており、多角質である。ハンマー打撃により溶岩を発生させる。深度7.60m以深、気泡跡などの凹部に沿って赤色を帯びる。		4.15	2	1	3	6	50			
6				玄武岩溶岩		暗灰				4.45								
7				玄武岩溶岩		暗赤灰				5.15	6	4	10	20	50			
8	2376.24	8.80		玄武岩溶岩		暗赤				5.45								
9	2377.34	9.70		玄武岩クラカ		暗赤		溶岩流の表面に形成される破片状・岩塊状の溶岩である。岩片状~塊状で採取される。岩片間で溶結し、空隙を伴った短柱状で採取される箇所もある。コア頭は粗く、全体に多角質である。ハンマー打撃により溶結箇所が割れる。		6.05	50		50	50				
10	2376.54	10.45		玉石混じり溶岩		褐		φ2~50mm前後の礫を主体とする火山砕解物である。溶岩塊を主体とする火山砕解物である。砂分を多く混入する。溶岩片状~短柱状で採取される玄武岩溶岩である。全体に発泡しており、多角質である。ハンマー打撃により溶岩を発生させる。		7.05	50		50	30				
11				玄武岩溶岩		暗灰				8.15	10	40	50	180				
12				玄武岩溶岩		暗灰				8.35								
13	2374.04	13.30		自破砕玄武岩溶岩		暗灰		溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自破砕溶岩である。短柱状~片状で採取される。全体に発泡しており多角質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で溶岩を発生させる。		9.15	3	7	8	18				
14						暗灰				9.45								
15						暗灰				10.15	4	2	4	10	50			
16						暗灰				10.45								
17						暗灰				11.05	50		50	30				
18						暗灰				11.05	30		30					
19						暗灰				12.05	50		50	20				
20						暗灰				12.05	20		20					
21						暗褐				13.15	2	3	2	7	50			
22						暗褐				13.45								
23						暗褐				14.15	11	12	9	30				
24	2368.14	23.80		玄武岩溶岩		暗灰		溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自破砕溶岩である。短柱状~片状で採取される。全体に発泡しており多角質である。破砕面は暗褐色に着色している。コアはハンマー打撃で溶岩を発生させる。		14.45								
25	2361.54	25.50		玄武岩溶岩		暗灰				15.15	5	5	4	14	50			
26						暗灰				16.15	2	3	3	8	50			
27						暗灰				16.45								
28						暗灰				17.15	2	3	2	7	50			
29						暗灰				17.45								
30	2357.01	30.03		砂混じり溶岩		暗褐		古富士火山の噴出物とみられる、火山肥溜堆積物である。φ2~50mm前後の火山礫を主体とし、コア長10cm前後で採取される火山岩を混入する。砂分を多く混入する。全体に固結しているが、ハンマー打撃で容易に割れる。		18.15	5	2	5	12	50			
31						暗褐				18.45								
						暗褐				19.05	50		50	30				
						暗褐				19.05	30		30					
						暗褐				20.05	50		50	100				
						暗褐				20.10								
						暗褐				21.15	31	19	50	150				
						暗褐				21.30								
						暗褐				22.15	2	1	3	6	50			
						暗褐				22.45								
						暗褐				23.05	50		50	20				
						暗褐				23.05	20		20					
						暗褐				24.05	50		50	30				
						暗褐				24.05	30		30					
						暗褐				25.05	50		50	10				
						暗褐				25.05	10		10					
						暗褐				25.15	12	33	50	160				
						暗褐				25.31	60		60					
						暗褐				27.15	7	12	23	42	50			
						暗褐				27.45								
						暗褐				28.15	13	18	19	50	290			
						暗褐				28.44								
						暗褐				29.18	18	32	50	200				
						暗褐				29.32								
						暗褐				30.05	50		50	30				
						暗褐				30.05	30		30					

※この地質調査結果は中間報告のため、成果品と異なる可能性がある。

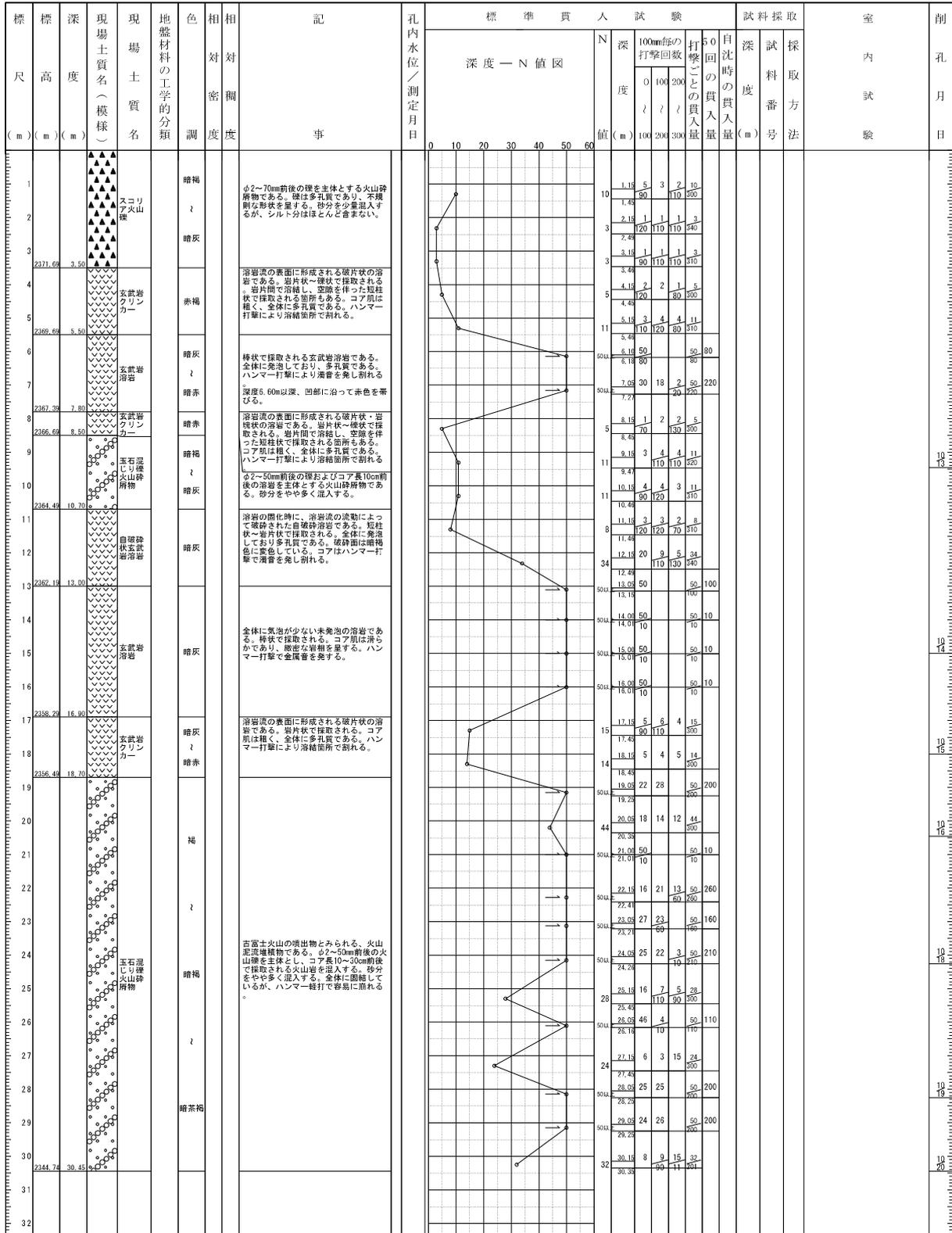
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和3年度 富士山富士宮口五合目来訪者施設に係る測量・地質調査業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	NO.4		調査位置	静岡県富士宮市粟倉地内		北緯		
発注機関	静岡県スポーツ・文化観光部文化局富士山世界遺産課		調査期間	令和3年10月13日～令和3年10月20日		東経		
調査業者名	株式会社 ジーベック 電話 054-246-7741		主任技師	武井諒 地質調査士 第24058号		現場代理人	武井諒 地質調査士 第24058号	
ボーリング責任者	米田久信 地質調査士 第12112号		コア	武井諒 地質調査士 第24058号		ポンプ	MS115	
孔口標高	TP 2375.19m	角	180° 0' 0" 上下 0° 0' 0" 左右		方角	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°		
総削孔長	30.45m		地盤勾配	1° 水平 0° 鉛直 90°		試験機	TOHO D0-0	
			エンジン	NFD-9				



※この地質調査結果は中間報告のため、成果品と異なる可能性がある。

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和3年度 富士山富士宮口五合目来訪者施設に係る測量・地質調査業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	N0.5		調査位置	静岡県富士宮市栗倉地内		北緯	"				
発注機関	静岡県スポーツ・文化観光部文化局富士山世界遺産課			調査期間	令和3年11月 1日～ 令和3年11月 6日			東経	"		
調査業者名	株式会社 ジーベック 電話 054-246-7741		主任技師	武井諒 登録調査技師 第24058号		現場代理人	武井諒 登録調査技師 第24058号		コピ定者	武井諒 登録調査技師 第24058号	
ボーリング責任者	亀田康弘 登録調査技師		角			地盤勾配	20° 水平 0°		使用機種	試錐機 KR-100	
孔口標高	TP 2368.06m		度	0°		エンジン	NFD10		ポンプ	MS145	
総削孔長	18.45m										

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 相	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔月日		
											N 値	深 度 (m)	100m毎の打撃回数	打撃ことの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)			試料番号	採取方法
1			▲▲▲▲▲	スコリア火山礫		褐			φ2~50mm前後の礫を主体とする火山砕積物である。礫は多孔質であり、不規則な形状を呈する。砂分を少量混入するが、シルト分はほとんど含まない。		1.15	1	1	2						11/1	
2						暗褐					1.45	150	150	300							
3											2.15	2	2	6							
4	2364.36	3.70				暗赤褐			溶岩流の表面に形成される破片状・岩塊状の溶岩である。岩片状～礫状で採取される。岩片間で溶結し、空隙を伴った短柱状で採取される箇所もある。コアは多孔質である。ハンマー打撃により溶結箇所が割れる。		2.45										
5			▽▽▽▽▽	玄武岩クワンカー		暗褐					3.15	1	1	4							
6											3.50										
7	2361.46	6.60				暗赤灰			溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自破砕溶岩である。短柱状～岩片状で採取される。全体に発泡しており多孔質である。破砕面は暗褐色に変色している。コアはハンマー打撃で濁音を発し割れる。		4.15	11	6	7	24						
8			▽▽▽▽▽	自破砕状玄武岩溶岩		暗灰					4.45										
9											5.15	4	4	5	13						
10	2361.46	6.60				暗灰			棒状で採取される玄武岩溶岩である。全体に発泡しており、多孔質である。ハンマー打撃により濁音を発し割れる。		5.45										
11	2358.71	9.35				暗灰			棒状で採取される玄武岩溶岩である。全体に発泡しており、多孔質である。ハンマー打撃により濁音を発し割れる。		6.15	4	4	4	12						
12			▽▽▽▽▽	玄武岩溶岩		暗灰					6.45										
13	2357.86	10.20				暗灰			溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自破砕溶岩である。短柱状で採取される。全体に発泡しており多孔質である。破砕面は暗褐色に変色している。コアはハンマー打撃で濁音を発し割れる。		7.00	50		50	40						
14						暗灰					7.04	40		40							
15	2358.71	9.35				暗灰			棒状で採取される玄武岩溶岩である。全体に発泡しており、多孔質である。ハンマー打撃により濁音を発し割れる。		8.00	50		50	20						
16			▽▽▽▽▽	自破砕状玄武岩溶岩		暗灰					8.02	20		20							
17	2357.86	10.20				暗灰			溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自破砕溶岩である。岩片状で採取される。全体に発泡しており多孔質である。破砕面は暗褐色に変色している。コアはハンマー打撃で濁音を発し割れる。		9.15	12	38	50	200						
18						暗灰					9.35										
19	2356.76	11.30				暗灰			棒状で採取される玄武岩溶岩である。全体に発泡しており、多孔質である。ハンマー打撃により濁音を発し割れる。		10.10	50		50	60						
20			▽▽▽▽▽	玄武岩溶岩		暗灰					10.18	60		60							
21	2356.76	11.30				暗灰			溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自破砕溶岩である。岩片状で採取される。全体に発泡しており多孔質である。破砕面は暗褐色に変色している。コアはハンマー打撃で濁音を発し割れる。		11.15	29	21	50	130						
22						暗灰			全体に気泡が少ない未発泡の溶岩である。棒状で採取される。コアは滑らかであり、緻密な岩相を呈する。ハンマー打撃で金属音を発する。		11.28	30		30	150						
23	2354.91	13.15				暗灰					12.00	50		50	10						
24						暗灰					12.01	10		10							
25	2349.61	18.45				赤褐			古富士火山の噴出物とみられる、火山泥流堆積物である。φ2~50mm前後の火山礫を主体とする。砂分をやや多く混入する。全体に固結しているが、ハンマー打撃で容易に崩れる。		13.00	50		50	10						
26						褐					13.01	10		10							
27						暗褐			層上部である深度13.15~14.00間は全体に赤色を帯び、上位の溶岩の熱により酸化変色したものと考えられる。		14.15	27	23	50	190						
28											14.34	90		90							
29											15.15	50		50	20						
30											15.17	20		20							
31											15.00	50		50	90						
32											15.09	90		90							
33											17.00	50		50	70						
34											17.07	70		70							
35											18.15	10	16	20	46						
36											18.45				300						

※この地質調査結果は中間報告のため、成果品と異なる可能性がある。

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和3年度 富士山富士宮口五合目来訪者施設に係る測量・地質調査業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	N0.7		調査位置	静岡県富士宮市栗倉地内		北緯	"							
発注機関	静岡県スポーツ・文化観光部文化局富士山世界遺産課			調査期間	令和3年11月25日～ 令和3年11月26日			東経	"					
調査業者名	株式会社 ジーベック 電話 054-246-7741		主任技師	武井諒 地質調査士 第24058号		現場代理人	武井諒 地質調査士 第24058号		コピ定者	武井諒 地質調査士 第24058号		ボーリング責任者	安森 靖 地質調査士 第19973号	
孔口標高	TP 2364.38m		角	180° 上 90° 下		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	20° 水平 0° 鉛直 90°		使用機種	試験錐機 TOHO DO-D エンジン NFD-9	
総削孔長	12.26m		度	0°		向			ポンプ	MS415				

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 相	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取			室内試験	削孔月日					
											深度 - N 値 図					深 度 (m)	試 料 番 号	採 取 方 法							
												N	深 度 (m)	100mm毎の打撃回数	打撃ことの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量								
												値	0 100 200 300	0 100 200	0 100 200	0 100 200									
1			▲▲▲▲	スコリア火山礫		暗褐			φ2~70mm前後の礫を主体とする火山砕屑物である。礫は多孔質であり、不規則な形状を呈する。砂分を少量混入するが、シルト分はほとんど含まない。		8	1.15	3	3	2	8	300								
2	2361.88	2.50											1.45												
3			▽▽▽▽	玄武岩クレー		暗赤褐 暗赤			溶岩流の表面に形成される破片状の溶岩である。岩片状～礫状で採取される。コア肌は粗く、全体に多孔質である。ハンマー打撃により溶結箇所が割れる。		3	2.45	1	1	1	3	300								
4	2360.68	3.70							溶岩の固化時に、溶岩流の流動によって破砕された自破砕溶岩である。短柱状～岩片状で採取される。全体に発泡しており多孔質である。破砕面は暗赤色～暗褐色に変色している。コアはハンマー打撃で聲音を発し割れる。		6	3.15	2	2	2	6	300								
5	2359.88	4.50							溶岩の表面に形成される破片状の溶岩である。岩片状～礫状で採取される。コア肌は粗く、全体に多孔質である。ハンマー打撃により溶結箇所が割れる。		32	4.15	12	10	10	32	300								
6			▽▽▽▽	玄武岩クレー		暗赤			溶岩流の表面に形成される破片状の溶岩である。岩片状～礫状で採取される。コア肌は粗く、全体に多孔質である。ハンマー打撃により溶結箇所が割れる。		8	4.45	3	2	3	8	300								
7	2357.73	6.65									5	5.15	3	2	3	5	300								
8			○●○●	玉石混じり火山砕屑物		褐			古富士火山の噴出物とみられる、火山泥流堆積物である。φ2~50mm前後の火山礫を主体とし、コア長20~30cm前後で採取される火山岩を混入する。砂分をやや多く混入する。全体に固結しているが、ハンマー軽打で容易に崩れる。		50cm	5.45	2	1	2	5	300								
9											50cm	6.15	2	1	2	5	300								
10											50cm	6.45													
11											50cm	7.15	14	17	19	50	290							11/25	
12	2352.12	12.26									50cm	7.44													
13											50cm	8.15	22	28		50	200								
14											50cm	8.35													
15											50cm	9.00	50			50	10								
											50cm	9.01	10			10									
											50cm	10.15	16	20	14	50	260								
											50cm	10.41				60	260								
											50cm	11.15	20	30		50	180								
											50cm	11.33				60	180								
											50cm	12.10	30	20		50	160								
											50cm	12.28				60	160								

※この地質調査結果は中間報告のため、成果品と異なる可能性がある。